

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第30週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が47例あった。第29週目までの届出は20例であり、届出総数は67例となった。47例の中には、高鍋保健所管内で発生した新型コロナウイルス感染症のクラスター(感染集団)が含まれている。

全数報告の感染症(30週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：後天性免疫不全症候群1例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		延岡	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	男	—	水様性下痢、血便、発熱、咳、鼻水、O157(VT型不明)
5類	後天性免疫不全症候群	都城	20歳代	男	AIDS	記憶力低下 指標疾患 HIV脳症
	梅毒	都城	10歳代	女	早期顕症梅毒(I期)	硬性下疳

指定感染症(30週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群						症状	
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代		60歳代
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	8例			1	1	3	3		発熱、咳、 全身倦怠感等
	都城	1例			1					
	高鍋	35例	3	4	2	10	13	1	2	
	日向	1例					1			
	中央	2例							2	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は327人(定点当たり9.8)で、前週比82%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

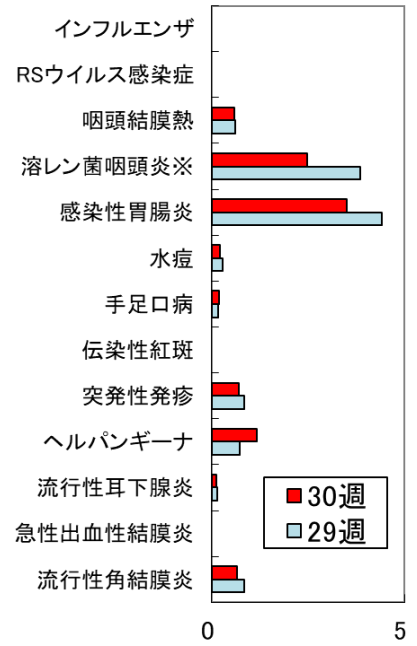
報告数は89人(2.5)で、前週比64%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約1.5倍であった。延岡(8.3)、日南(4.3)、宮崎市(2.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約3割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

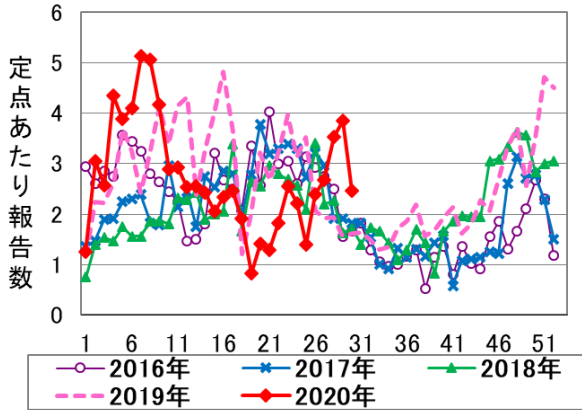
報告数は42人(1.2)で、前週比162%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(3.5)の約0.3倍であった。都城、延岡(3.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》



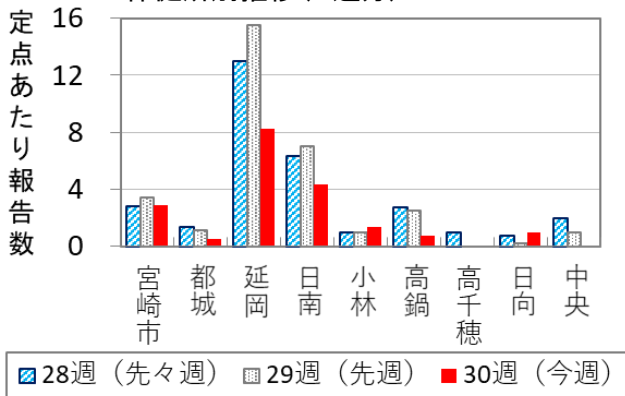
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



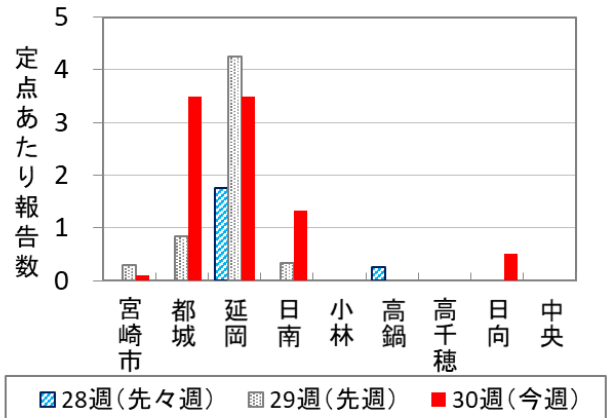
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向保健所から1例報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

🇯🇵 全国 2020 年第 29 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 29 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	256 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	108 例				
4類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	2 例	回帰熱	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱	11 例
	ポツリヌス症	1 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	76 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	12 例
	水痘（入院例）	1 例	梅毒	55 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	3 例	百日咳	14 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS））へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 102% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、咽頭結膜熱とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘と手足口病であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,976 人(0.9)で前週比 95% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (2.0) の約 0.5 倍であった。宮崎県(3.9)、鳥取県(3.4)、福岡県(2.7)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 7,127 人(2.3)で前週比 104% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (4.1) の約 0.6 倍であった。大分県(5.1)、宮崎県(4.4)、富山県(4.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第30週(07月20日～07月26日)

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	21	13	3	3	1				1	
	定点当り	0.61	0.58	1.30	0.50	0.75	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	139	89	29	3	33	13	4	3		4	
	定点当り	3.86	2.47	2.90	0.50	8.25	4.33	1.33	0.75	0.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	159	126	25	31	4	12	22	8		21	3
	定点当り	4.42	3.50	2.50	5.17	1.00	4.00	7.33	2.00	0.00	5.25	3.00
水痘	報告数	10	8	3	1	1	1	2				
	定点当り	0.28	0.22	0.30	0.17	0.25	0.33	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	6	7		1	3	2				1	
	定点当り	0.17	0.19	0.00	0.17	0.75	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	25	7	6	4	1	2		1	4	
	定点当り	0.83	0.69	0.70	1.00	1.00	0.33	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	26	42	1	21	14	4				2	
	定点当り	0.72	1.17	0.10	3.50	3.50	1.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	4		2	1	1					
	定点当り	0.14	0.11	0.00	0.33	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	4	4								
	定点当り	0.83	0.67	1.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1									1
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			1.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～30週)

2類感染症	結核	102例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	4例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	後天性免疫不全症候群	4例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	10例(1)
	破傷風	3例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	67例(47)		

()内は今週届出分、再掲